

ボンバルディア式CL-600-2B19型JA206J 航空重大インシデント調査状況報告

運輸安全委員会
平成25年5月



航空重大インシデント事案当該機
・事案発生エンジンは反対側の右エンジン

1. 事案の概要

当該機は、平成25年5月6日、大阪国際空港A滑走路に着陸後の地上走行中、A4誘導路上において、12時16分ごろ、右エンジンに火災が発生したことを示す計器表示があったため、当該エンジンを停止し消火装置を作動させた。その後、当該機は自走により駐機場まで移動した。

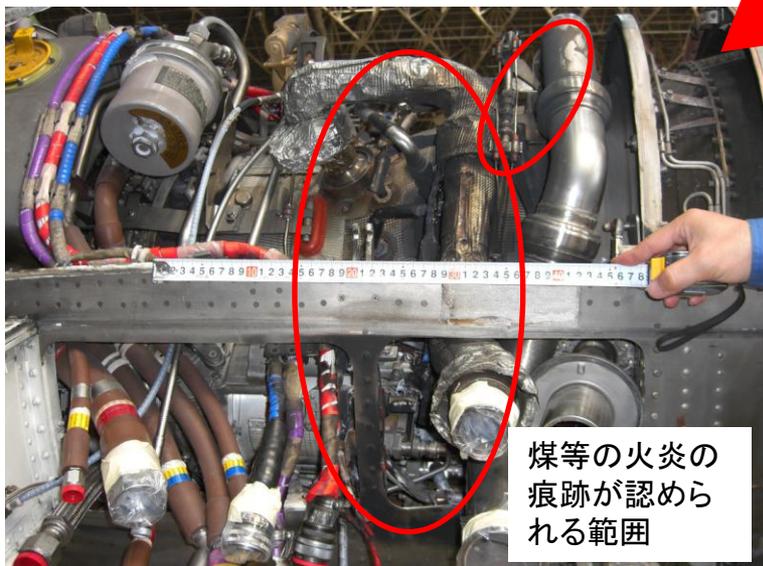
2. 初動調査実施概要

- ・ 3名の調査官を5月7日から8日の日程で派遣
- ・ 機体調査の実施
- ・ 飛行記録装置の確保
- ・ 乗員からの口述聴取
- ・ 誘導員及び整備士からの口述聴取
- ・ 整備記録等の入手

● エンジン外観の目視調査の概要

右エンジンの後方より見て、9時から10時方向、円環状の燃料配管付近に約50センチメートル四方の範囲で煤等の火炎発生の際の痕跡があった。

特に燃料配管から18本ある燃料噴射ノズルへ延びるチューブのうち、12番、13番及び14番の焼損状態が顕著であった。



● 今後の調査予定

当該型式エンジンの分解検査が、実施可能な設備が整った施設に搬入して、焼損状況や原因となった箇所の特特定などを行う予定。